

市有施設における石綿含有仕上塗材調査

1 調査の目的

市有施設における石綿含有仕上塗材に係る取り扱いルールを定めるため、劣化が懸念される施設を調査する。

2 市有施設における仕上塗材調査施設数

	区分	全施設数
一般会計施設	公営住宅以外	2,307施設
	公営住宅	109団地(770棟)
学校施設	—	324施設
計		3,401施設

<選定条件>

- ・30年以上前の施設、かつ、過去外壁改修を行っていない施設
- ・吹付け工法による施設
- ・使用箇所が外壁である施設
- ・公営住宅・学校施設は仕様が同じため、代表施設を選定 など



H30調査予定施設数
18施設(20棟)
1団地(3棟)
校舎—28施設(62棟) 体育館—17施設(18棟) 格技場—4施設(4棟) 計49施設(84棟)
68施設(107棟)

※各施設の増築分を反映した棟数

3 石綿含有仕上塗材の劣化度等調査内容（環）環境都市推進部での調査実施）

<p>(1) 定性分析 H30予算 214検体 × 58,320円 = 12,480千円</p> <p>図面等で仕上塗材が使用されていると判断した施設におけるアスベスト有無の調査</p>	<p>(4) 足場代 H30予算 573千円 + 1,404千円 = 1,977千円</p> <p>定性分析の採取箇所及び外壁補修箇所が高所作業となる施設については、別途足場代を計上</p>
<p>(2) 大気濃度測定 H30予算 496検体 × 37,800円 = 18,317千円(端数整理▲432)</p> <p>定性分析でアスベスト有となった箇所について、大気濃度測定を実施</p>	<p>(5) 劣化度範囲調査 H30予算 68施設 × 16,200円 = 1,102千円</p> <p>外壁の劣化度合いについて目視等で調査し、劣化度合い、範囲等について図面及び写真等で記録</p>
<p>(3) 電子顕微鏡 H30予算 実施が必要となった場合に執行差金等で実施</p> <p>大気測定で総繊維数が1本/L超となった検体について、電子顕微鏡による再分析を実施</p>	<p>(6) 外壁補修 H30予算 642箇所 × 6,696円 = 4,299千円</p> <p>定性分析で採取した箇所の現状復帰</p>

H30予算事業費 計38,175千円

4 石綿含有仕上塗材調査に係る今後のスケジュール

